

平成三十年度 活動報告

平成三十年度「肥後医育塾」 年間テーマ「私たちの健康み らい」を開催

常任理事（事業担当） 遠藤 文夫

県民に対して、定期的に医学・医療情報を提供し、県民とともに考える健康と医療を目指す目的で、一般財団法人化学及血清療法研究所並びに熊本日日新聞社との共催で、市民公開セミナーを開催しました。

日本人の平均寿命は女性八七・一四歳、男性八〇・九八歳（二〇一六年）で、わが国は世界二位の長寿大国となり、長い人生をいつまでも健康で明るく暮らすため、今後更に医療技術の進歩に大きな期待がよせられており、年間テーマとして「私たちの健康みらい」を取り上げ、年間三回のセミナーを開催しました。それぞれ「治す認知症」、「私たちの未来は「百寿社会」？」、「ワクチンのこと正しく知りましょう」を取り上げ、専門医の先生方から分かりやすく解説をいただきました。

第六十四回は、七月十六日（月祝）にホテル熊本テルサにおいて、「治す認知症」と題して開催しました。

講演では、座長を熊本大学大学院生命科学研究部神経内科学分野教授の安東由喜雄先生にお願いしました。

講演の一番目は、医療法人堀尾会熊本託麻台リハビリテーション病院理事長 平田好文先生から「外科的治療ができる認知症疾患と突発性正常圧水頭症と慢性硬膜下血腫」と題して、認知症状を呈する方々の中に、五〜一〇％外科的治療ができる認知症疾患があり、突発性正常圧水頭症や慢性硬膜下血腫など外科的治療ができる認知症疾患について講演をいただきました。

講演の二番目は、熊本大学大学院生命科学研究部神経内科学分野分子神経治療学寄附講座特任教授の中根俊成先生から「レビー小体認知症、パーキンソン病に伴う認知症の治療」と題して、病気のその原因が同じであるレビー小体認知症、パーキンソン病に伴う認知症の治療について講演をいただきました。

講演の三番目は、熊本大学大学院生命科学研究部神経内科学分野脳血管障害先端医療寄附講座特任教授の中島 誠先生から「脳血管障害に伴う認知症ケア」と題して、脳血管障害は脳卒中や認知症の原因となるだけではなく、アルツハイマー病を悪化させる恐れがあることが分かっています。脳血管障害による認知症の発症や悪化をどのように防ぐかについて講演をいただきました。

講演の四番目は、熊本大学大学院生命科学研究部神経内科学分野講師 植田光晴先生から「アルツハイマー病の治療の最前線」と題して、アルツハイマー病を正しく理解することが適切な治療を受けするために重要で、その最新の治療方法に

ついて講演をいただきました。

講演終了後の質疑応答は、あらかじめ寄せられた質問に講演者が答える形で行いました。約四二一人の来場者があり、内容を、八月二十四日の熊本日日新聞紙面に掲載しました。

第六十五回は、一月十二日（土）にホテル熊本テルサにおいて、「私たちの未来は「百寿社会」？」と題して開催しました。

講演では、座長を熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学分野教授の片瀨秀隆先生と、熊本大学大学院生命科学研究所腎臓内科学分野教授の向山政志先生にお願いしました。

講演の一番目は、慶応義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科教授の伊藤裕先生から「百寿社会と幸福寿命」と題して、いま生まれる子供達の半数は百歳まで生きることになり、平均寿命と健康寿命の差は大きな問題です。一番大切なのは、いつまで幸せでいられるかという幸福寿命。この幸福、実は心と体、臓器同士、他人とのあいだ、大切なのはこれらがうまくつながること、つなぐ役目をしているのが「ホルモン」と「腸内細菌」この二つを活性化化する極意をお話しいただきました。

講演の二番目は、熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学分野准教授の大場 隆先生から「女性のエストロゲン欠乏と更年期・老年期」と題して、エストロゲンと女性の健康寿命のかかわりについて、分かりやすくお話しいただきました。

た。

講演の三番目は、健軍泌尿器科院長の高橋 渡先生から「男性にも起こる更年期障害と男性ホルモンの働きについて」と題して、男性ホルモンとその低下で起こる男性更年期障害に対して正しい知識を身に付けて、この人生百年時代の長寿社会において、元気で心身ともに健康な生活を続けて行くための講演をいただきました。

講演の四番目は、熊本市病院局熊本市病院事業管理者の水田博志先生から「いつまでも元気で歩こう！ロコモ対策で健康長寿」と題して、活動的で生き生きとした生活を送るためには、まず自分の足で歩けることが基本。そのためには、運動機能の低下を早期に発見し、適切なトレーニング（ロコモトレ）を続けることが必要で、健康長寿をめざすロコモ対策について講演をいただきました。

講演終了後の質疑応答は、あらかじめ寄せられた質問に講演者が答える形で行いました。約二六二人の来場者があり、内容を、二月十五日の熊本日日新聞紙面に掲載しました。

第六十六回は、三月二十一日（木祝）にホテル熊本テルサにおいて、「ワクチンのこと正しく知りましょう」と題して開催しました。

講演では、座長を熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学分野教授の片瀨秀隆先生と、熊本大学大学院生命科学研究所小児科学分野教授の中村公俊先生にお願いしました。